

バイオベンチャーの育成 に関する取り組み

2018年1月18日

(一財)バイオインダストリー協会

JBAのバイオベンチャー育成に関する取組み

関係機関の連携

バイオビジネス推進協議会

メンタリング

JBAアドバイザリー委員会 助言会

アライアンス推進

BioJapan、バイオビジネスセミナー
国内外パートナーリングイベント支援

研修制度

JBAバイオリーダーズ研修

表彰制度

バイオインダストリー大賞・奨励賞
日本バイオベンチャー大賞への協賛

バイオビジネス推進協議会(2015年～)

JBAの呼びかけで関係機関が一堂に会する機会を初めて創出
各機関が情報・課題を共有し、連携した効果的な支援を目指す

2017年度メンバー(敬称略)

日本医療研究開発機構 産学連携部
新エネルギー・産業技術総合開発機構 イノベーション推進部
科学技術振興機構 産学共同開発部
中小企業基盤整備機構 経営支援部
(株)産業革新機構 執行役員
日本貿易振興機構 サービス産業部
日本製薬工業協会 研究振興部
(一社)再生医療イノベーションフォーラム 事務局

ファンディング機関

(一財)バイオインダストリー協会
経済産業省 生物化学産業課
関東経済産業局 地域経済部

オブザーバー(敬称略)

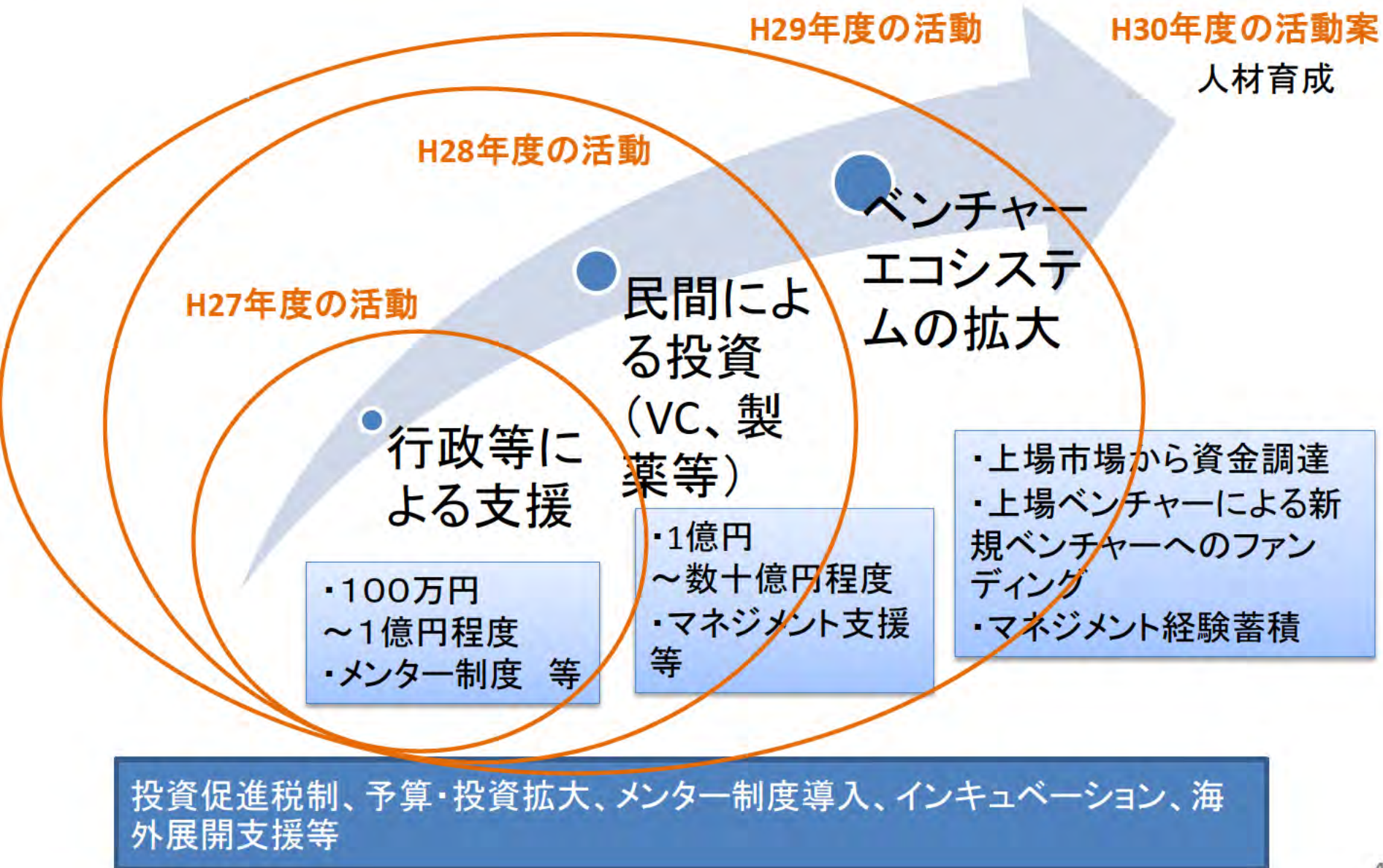
内閣官房 健康・医療戦略室
厚生労働省 医政局 経済課
厚生労働省 医政局 研究開発振興課
文部科学省 研究振興局 ライフサイエンス課
(民間) 製薬企業・VCの関係者

関係省庁



2017年度会合(9月)の様子

ベンチャーエコシステムにおける協議会活動の展開



JBAアドバイザー委員会 助言会

ベンチャーへのメンタリング事業(2016年～)※1

ライフサイエンス分野の投資※2に詳しいベンチャーキャピタリスト、製薬企業の主幹研究員、医薬品CMCのコンサルタント、法務・知財の専門家(弁護士、弁理士)が、ボランティアのアドバイザーとして、ベンチャーの資金施策、事業展開、事業に関連する法規制等について助言する

※1: 関東経済産業局の平成28年度地域中核企業創出・支援事業(関東バイオ関連企業ネットワーク創出・支援事業)で実施

※2: ライフサイエンス分野の投資は金額も大きく、期間も中長期にわたるため、他の分野の投資方法とは異なるため、ライフサイエンス分野の投資経験が長いベンチャーキャピタリストを登用。欧米ではPhDやMDを持つベンチャーキャピタリストが多い。



アライアンス推進、研修・表彰制度の例

アライアンス推進

国内外のパートナーリングイベントで691件のベンチャー企業の面談を支援※

※: 関東経済局委託事業主な参加イベント; BioPharm America 2016 (Boston), BIO-Europe 2016 (Korn), Biocom Global Life Science Partnering Conference (San Diego), BIO-Asia 2017 (東京)

JETRO中小企業海外展開支援活動と連携

バイオビジネスセミナー; 経営トップによる講演と連携の場を提供、10回/年程度開催

バイोजアパン2017 BioJapan

来場者数; 15,700人(33の国と地域)

海外からの参加; 347社、442名

商談件数; 8,591件

出展・パートナーリング参加; 983機関

ベンチャー; 約150社、製薬会社; 約50社

大学・機関; 約80組織

ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット2017(厚労省主催)を併催(63社参加)

バイオインダストリー大賞 バイオインダストリー奨励賞



第1回大賞は京都大学高等研究院本庶佑特別教授が受賞



Japan Bioindustry Award
バイオインダストリー大賞

JBAバイオリーダーズ研修(3日間)

対象; 企業に所属する30歳前後の技術者
内容; チーム毎に、大学の技術シーズからビジネスプランを作成



2017年度の
企業TOP講演
旭化成
浅野敏雄氏
タカラバイオ
仲尾功一氏

(再掲)JABEX意見 ; 日本に適したイノベーションシステムの構築

- ①ベンチャー人材の育成、②スタートアップに対してファンドが切れ目無く支援する仕組み、③国家間競争として民間投資や対内直投を促進する仕組み、等が必要。

①-1;アントレプレナー人材の育成

金融リテラシーや知財を含む事業化スキル教育が必要。
 Y-combinatory(米国);民間のスタートアップ養成機関(3ヶ月)
 武田薬品工業;entrepreneurship venture program
 東大、神戸大、九大などのアカデミアの取組み;
 文科省;次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)、
 ジャパンバイオデザイン(医療機器)

①-2;ベンチャー支援人材の育成と確保

ベンチャーキャピタリスト・ファンド担当者
 ⇒サイエンスが解る人材の育成、倫理教育の徹底
 メンター⇒事業運営・起業を経験したメンター人材の登用
 (とそのネットワークの活用)
 例;JBAアドバイザー委員会;サイエンスがわかる投資家、
 製薬企業、知財、法務の専門家等によるメンタリング

②-1;成長に伴う途切れのない資金提供

プレシード	シード	アーリー	レーター
政府系ファンド等による支援 ~1000万	民間投資(VC・企業) ~1億	民間投資(VC・企業) ~数十億	上場市場・機関投資家 などからの資金調達

投資促進税制、予算・投資拡大、メンター制導入、インキュベーション、海外展開支援
 国立大学の知財に関与した会社⇒
 出資・投資条件の情報開示・透明化
 JBA/バイオビジネス推進協議会資料より作成

②-2;スタートアップ支援の連携

スタートアップが開発する技術の中には、初期には産業分野を特定できないものの、広い産業分野に利用できる技術がある。このような技術を開発するスタートアップへの支援には支援機関の連携が必要である。

③-1;政府による企業情報の発信

ドイツ貿易・投資振興機構(GTAI);バイオ分野毎にドイツ国内のバイオ企業をするビジネスダイレクトリーを作成し国内企業のビジネスを後押し。

③-2;政府によるマッチングイベントの活用

バイオジャパンは国単位の出展多数。⇒JETROへの期待
 one-to-one partnering meetings

BIO International(米国)	約4.1万件(2017,世界最大)
Biotech Showcase(米国)	約6,700件(2017)
BIO Europe(欧州)	約2.4万(2017)
バイオジャパン	約8,500件(2017,アジア最大)